

# 令和2年度 決算見込み

令和2年度一般会計・特別会計および企業会計の決算見込みが出ました。みなさんが納めた税金や、国・府からの補助金などがどのように使われたのかをお知らせします。  
※決算は市議会で認定後、確定となります。  
※端数処理のためずれが生じる場合があります。

問合せ 財政課へ

## 一般会計

一般会計とは、市税などを主な財源として、行政の基本的な経費（例えば、福祉、教育、土木などに要する経費）を経理する会計

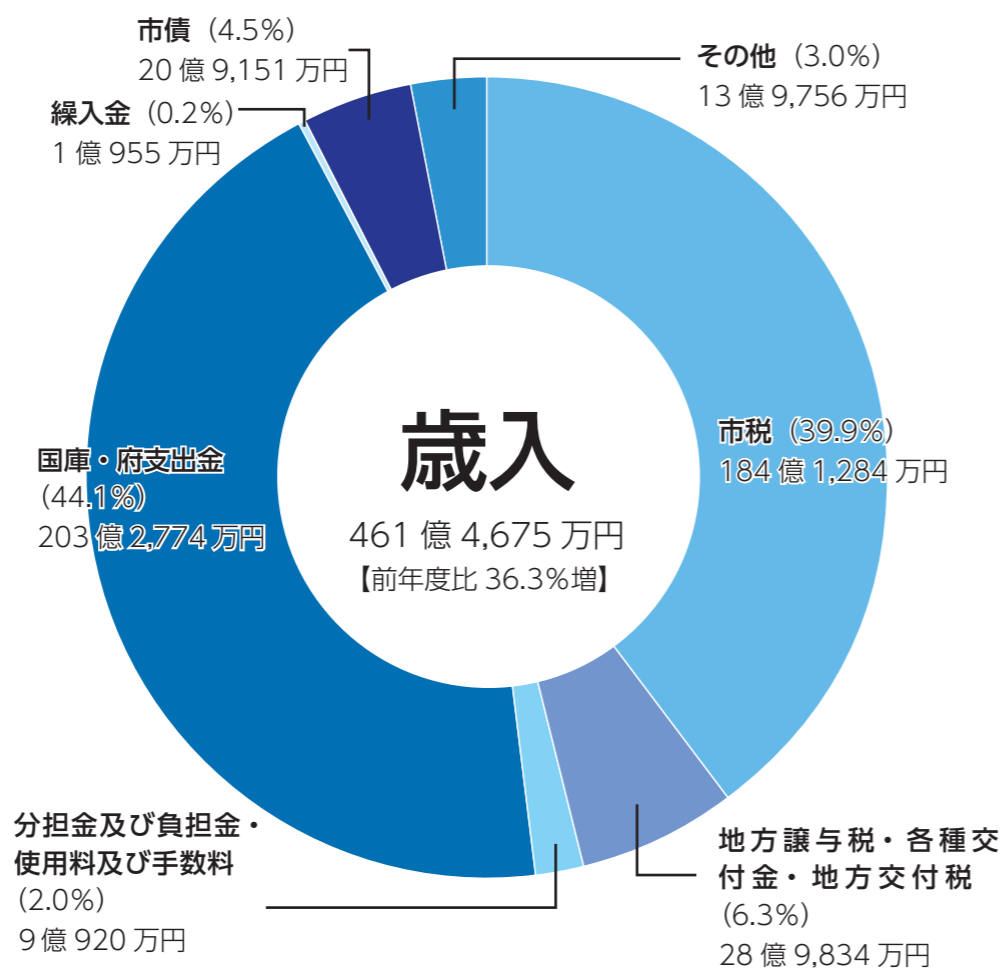
歳入 461億4,675万円 歳出 456億7,953万円

### 実質収支 黒字に

令和2年度の決算額は、歳入461億4,675万円、歳出456億7,953万円です。差し引き4億6,722万円から令和3年度に繰り越した事業の財源1億4,842万円を除くと、実質収支3億1,880万円の「黒字」決算となりました。

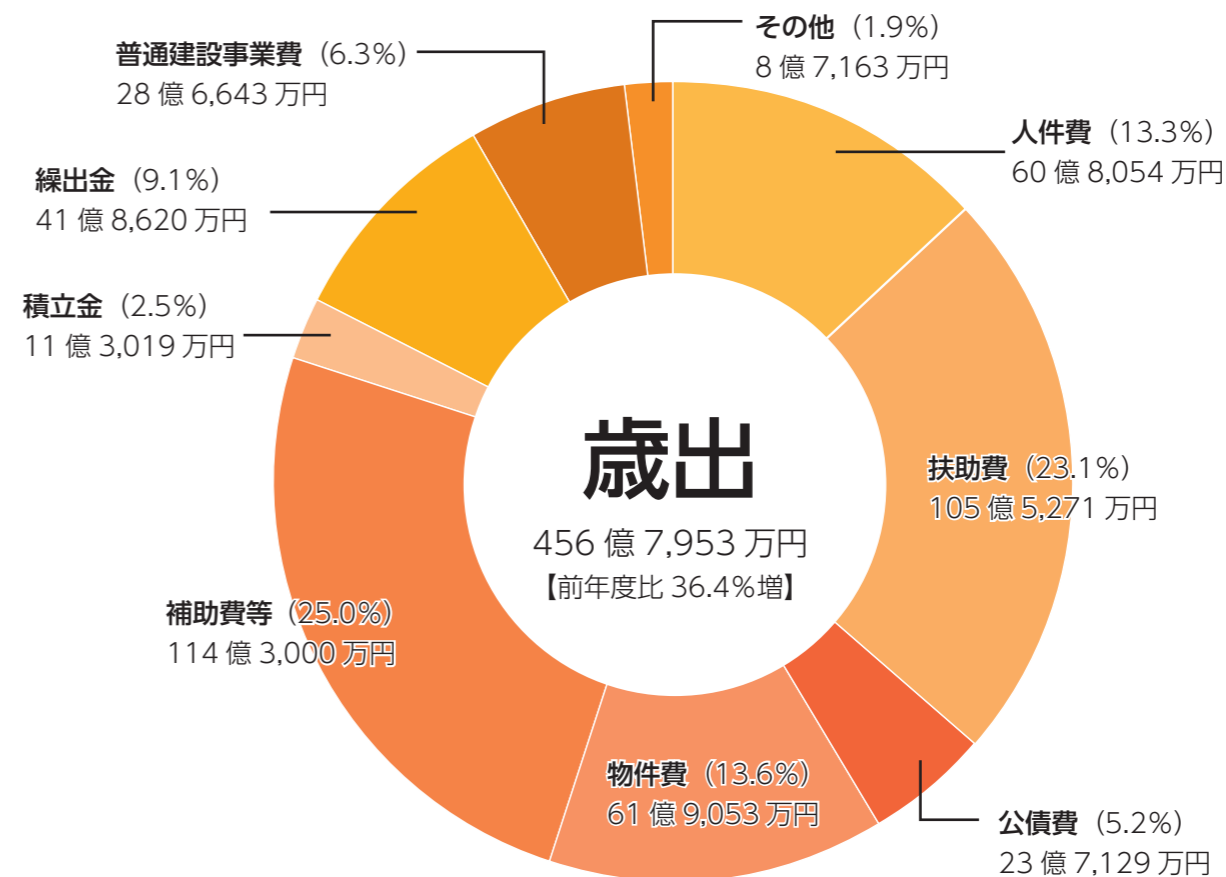
歳入では法人市民税などが減収となったものの、特別定額給付金給付事業費補助金等の国庫支出金が増加したことにより、歳入総額は前年度から122億9,995万円増加しました。

主要基金は、臨時財政対策債の発行などにより、2年連続財政調整基金を取り崩すことなく、昨年度末より約11億1,002万円増の約140億2,802万円となりました。



### 用語解説

- 市税** みなさんが納めた税金
- 地方譲与税・各種交付金・地方交付税** 国や府からの使い道の決まっていない交付金
- 分担金及び負担金・使用料及び手数料** 保育料やごみ処理手数料など、みなさんが負担したお金
- 国庫・府支出金** 国や府からの使い道が決まった交付金
- 繰入金** 基金（貯金）を取り崩して一般会計に入れたお金
- 市債** 国や銀行などから借りたお金
- 人件費** 職員の給与や議員の報酬にかかる経費
- 扶助費** 子どもや高齢者、障害者などの社会保障経費
- 公債費** 市債（借金）の返済金
- 物件費** 消耗品や印刷代、光熱費などの経費
- 補助費等** 団体への助成金や負担金の経費
- 積立金** 財政運営を計画的に行うための貯金
- 繰出金** 特別会計や企業会計を調整するための費用
- 普通建設事業費** 道路や学校などの建設や改修費用



## 企業会計

民間企業と同様、事業収益を上げて運営する会計

会計名	収入 (前年度比)	支出 (前年度比)
水道事業会計	21億5,309万円 (0.5%減)	18億3,616万円 (5.9%減)
下水道事業会計	37億2,951万円 (0.8%減)	35億2,895万円 (2.5%減)
合計	58億8,260万円	53億6,511万円

※いずれも収益的収支（経常的な事業活動に伴って発生する収益と費用の収支状況）による額

## 特別会計

特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計

会計名	歳入 (前年度比)	歳出 (前年度比)
国民健康保険特別会計	92億9,791万円 (3.3%減)	92億3,498万円 (3.8%減)
財産区財産特別会計	13億5,974万円 (2.6%増)	3,779万円 (18.5%増)
パートタイマー等退職金共済特別会計	1,657万円 (76.5%増)	1,657万円 (76.5%増)
介護保険特別会計	67億6,665万円 (4.8%増)	66億3,857万円 (4.0%増)
後期高齢者医療特別会計	12億8,835万円 (9.6%増)	12億3,556万円 (9.4%増)
合計	187億2,922万円 (0.8%増)	171億6,347万円 (0.1%増)

### 経常収支比率

#### 2年連続100%を下回る

経常収支比率とは、市税などの毎年度決まってくる収入で、毎年度必要とされている経費がどれだけまかなえているかを表したものです。この数値が高いほど、財政が硬直化していることを示します。

令和2年度の経常収支比率は、昨年度の99.1%から95.8%に改善しました。

収入の根幹である法人市民税などは景気の影響を受けやすく、今後、新型コロナウイルス感染症の影響が多くなるものと考えられます。

